

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「中学生の時に知っておきたい
ネット依存の危険予防」
- 2 対 象 1年生徒、教職員
- 3 専門医 阿久津 吉男 医師
(山形県立こころの医療センター)
- 4 実施月 6月
- 5 内 容(キーワード)
長時間のネット使用による心身の影響
ネット依存の危険予防



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- ☐ 有効だった
☐ 有効でなかった

<その理由>

* ネット依存の予防と解決策が明確に提示され、生徒にもわかりやすかったから。また、依存と脳の関係についても専門的な話があり、興味深く聞くことができたから。

②保健教育における校内連携について

- ☐ 有効だった
☐ 有効でなかった

<その理由>

* 学年道徳として実施することができたから。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- ☐ 有効だった
☐ 有効でなかった

<その理由>

* こころの医療センターの医局秘書の方を通して医師とやりとりし、講演の内容についても事前に相談できたから。

〔受講者の感想など〕

- 私が一番びっくりしたのは依存症も治療が必要な病気だということです。自分でチェックする時、一緒に指を折って数えていたら「ネット依存予備軍」だったので気をつけたいです。
- 自分が落ち込んでいるときほど依存しやすいことを学びました。

〔教科やその他の指導との関連性〕

- 講演内容を保健教育、保健指導、家庭への啓蒙などに活用したい。

